

災害発生時に光の提供でココロのケアを

AI/IoTを活用し 災害時のPHV電力有効活用

電気自動車を貸せる人、運転できる人、物を貸せる人を
マッチングさせることで地域の絆につなげる

災害発生後の充電ニーズの高まり

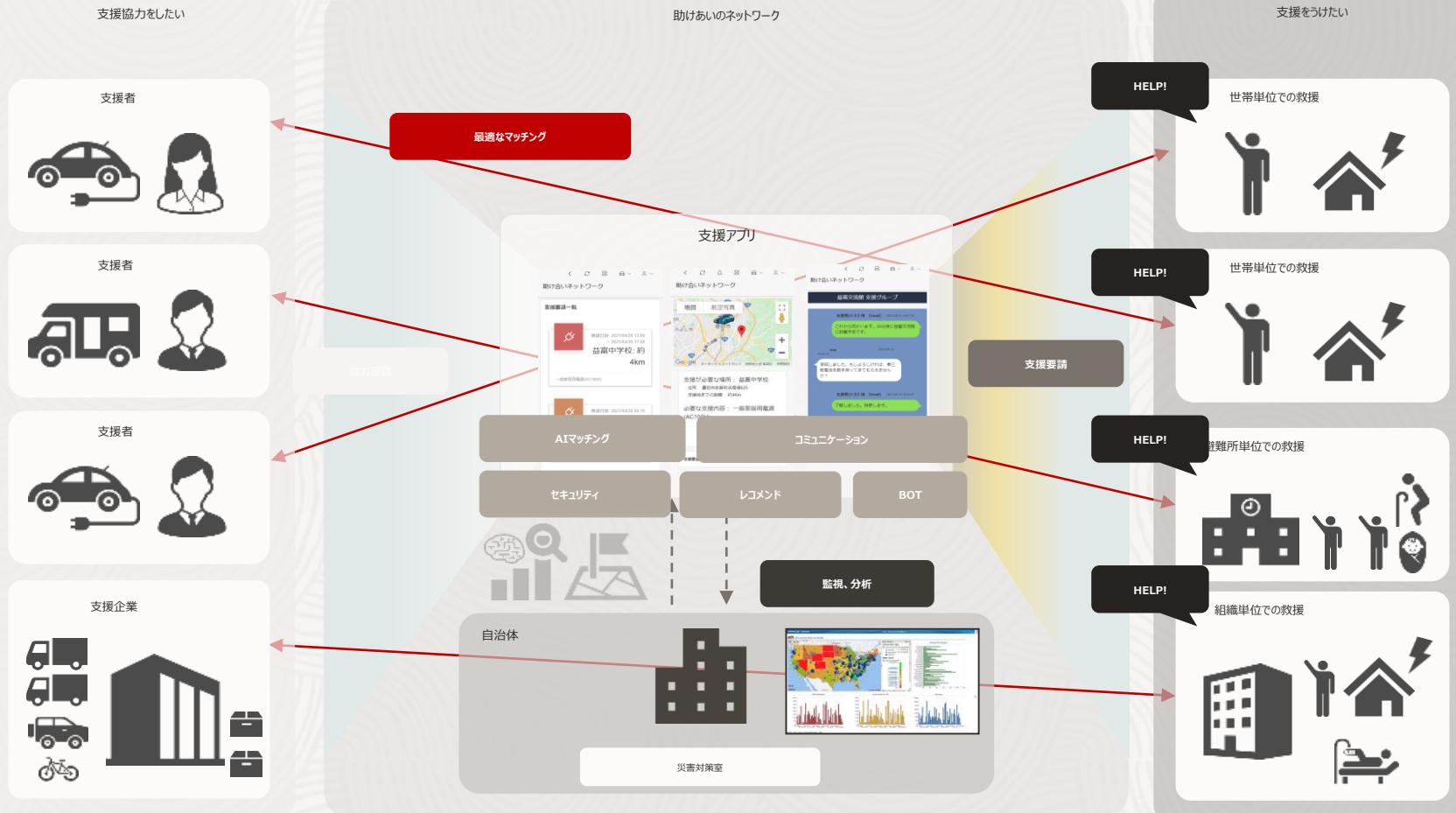
- スマートデバイスの普及・依存が進み、災害からの復旧や避難生活における充電ニーズが高まっている
- 大きな設備が自宅や避難所に届く前に、市内に身近にあるものによる電力の供給が求められていた

PHVの電力を災害時に有効活用

- 災害発生後、車を貸せる人、運転できる人、物を貸せる人をマッチングアプリでつなぎ、住民同士の絆作り
- 貸し出せる車両や個人の情報をクラウド上でセキュアに共有し合うことで、助け合いの気持ちによる地域の絆を実現

Oracle Smart city Project

災害発生時に光の提供でココロのケアを



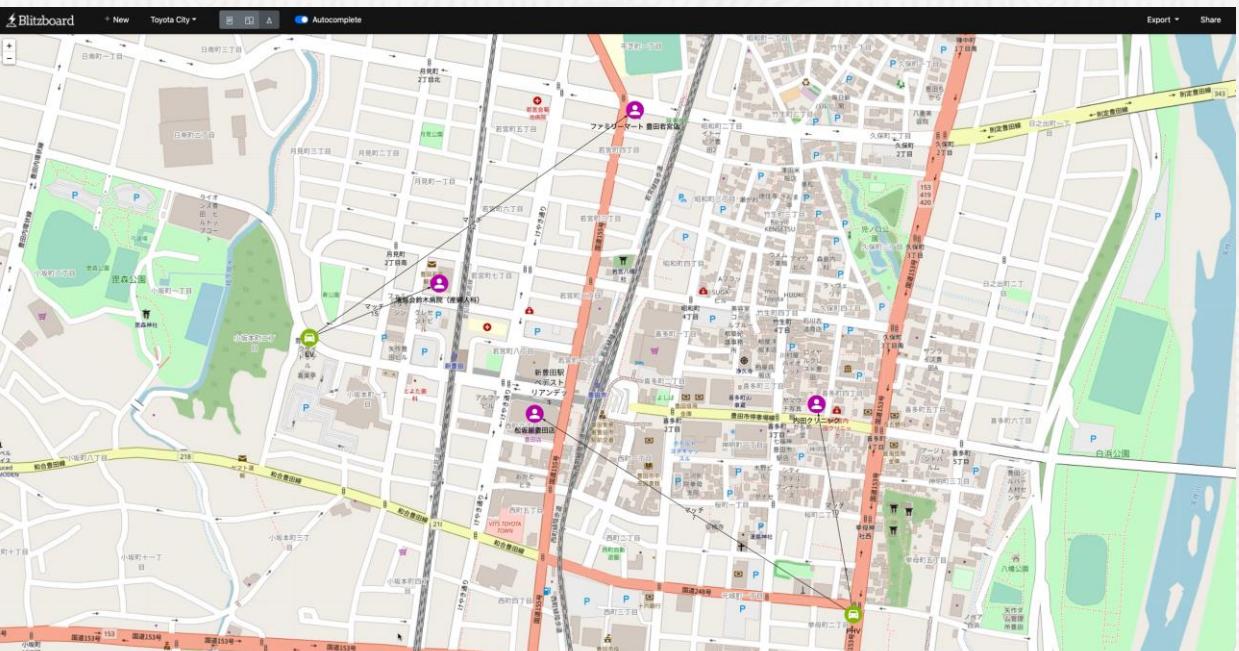
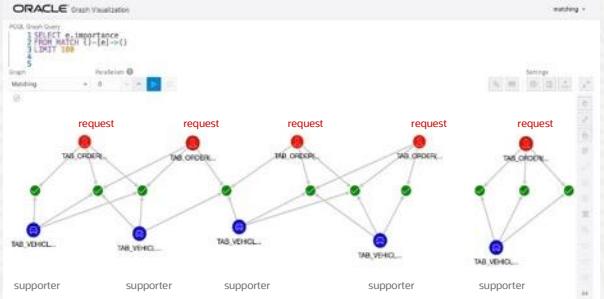
自治体災害対策室と連携し、
街で災害発生時にPHV車両や特殊電源車両の貸し出しを行うことで、
被災者への電源供給を行う取り組み

Oracle Smart city Project

災害発生時に光の提供でココロのケアを

より便利に

有事に依頼したり、応募しなくても最適な組み合わせで依頼が飛んで
助け合えるAI開発プロジェクト



人に寄り添う

平時から使われるプラットフォームにして、利用者に身近なサービスへ 東京都西新宿ビジネスマッチング実証実験

小田急地域コミュニティ活性施策

街への愛着を創出するコミュニティ活性化施策

「街の特性×デジタル」で沿線店舗と住民のリアルな場で交流創出

- 街に愛着を持つ飲食店の店主などが情報発信者となり、リアルタイムに提供したい「キヨウドコ情報」をユーザーに発信するローカル・コミュニケーション活性化アプリ。
 - 潜在顧客やコミュニケーション度合いを分析し、店舗地元住民の関係密化、まちへの愛着創出



京王花咲かプロジェクト

実証の様子: 日野市内
高幡不動駅周辺 19 の施設・店舗に設置

